

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

October / 12 / 2018 # 67

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

INDEX

- [1] 旬な話題、気になる話題
『新しい楽器』
 - [2] Pepeのひとりごと
『アンサンブル能力』
 - [3] おすすめ動画
『Peter Steiner - Syrinx』
『Devil's Duel by Peter Meechan』
 - [4] 演奏のヒント！
『バランス Part 2』
 - [5] 編集後記
-

- [1] 旬な話題、気になる話題

『新しい楽器』

9月中頃から、オーケストラで新しい楽器を使い始めました。
今まで吹いていた楽器との違いは、ベルの種類（材質）だけです。

イエローブラスでできている、俗にいう「黄色ベル」の楽器を持つのは、実は初めて。:)

オーケストラの中で吹くことにもだいぶ慣れてきましたが、とってもいい感じです。:D ;)

オーケストラの中で吹くときだけでなく、オーケストラや吹奏楽伴奏でのソロのときにもいいと感じています。 :)

それまで吹いていたゴールドブラスのベルの楽器は、ピアノとのアンサンブルにいいと思うので、これからはそのような使い分けになっていくと思います。 :)

いろいろと楽しみです！！

[2] Pepeのひとりごと

『アンサンブル能力』

幸運なことに、僕はコンサートで演奏をすることを仕事として日々過ごさせていただいています。 :)
そして、日々いろいろな形（奏者間だけでなく、指揮者とのアンサンブルなども含めて）でアンサンブルをしています。

そのアンサンブル能力なのですが、これが「音楽演奏活動をする上で、とても重要なこと」だということに、改めて気づかせてもらっています。

アンサンブル能力がない人が中に入ると、いろいろなもののバランスが崩れてしまい、一気に「音楽を創る」という作業の外へ追いやられてしまい、ただ「各人が音を出しているだけ」という状況になってしまいます。

これは、楽器の演奏能力というよりは、各人の感覚の問題だと思います（わかりやすく言うと、各人のセンス）。

前にも書いたことがあると思うのですが、このようなセンスを磨くためには、いろいろな演奏をたくさん聴くことが大切だと思います。

そのうえで、他の人たちの演奏を真似てみたり、ある人の演奏に「付けて」演奏してみる、ということをする、自然といろいろな演奏のやり方が身についていくと思います。

1つの曲に対して1つの演奏方法しか見つけられない、というような人は、ぜひ試してみてください。
きっと、いろいろな場面で役に立ちますよ！！ :)

[3] おすすめ動画

『Peter Steiner - Syrinx』

<https://www.youtube.com/watch?v=uWVMwZ5ebs8&index=3&t=0s&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg>

今月の1つ目の動画は、先日、日本ツアーを成功させたTrombone奏者、Peter (Steiner氏) の動画です。

演奏している曲は、Debussy作曲の「Syrinx」。フルートのための無伴奏曲です。

実はこの曲、かなり前にTrumpetでの演奏を聴いて衝撃を受け、「金管楽器でもできるんだ!」とあっていつか自分でも演奏したいと思っていました。(曲は、もう何年も前にE.Pahud氏のCDを聴いて知っていました)

僕も、いつか演奏したいなあ、と思っている曲のひとつです!

『Devil's Duel by Peter Meechan』

<https://www.youtube.com/watch?v=i-iBnRNPF1E&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=3>

2つ目の動画は、EuphoniumのGlenn (van Looy氏) の演奏です。曲は、P.Meechan作曲の「Devil's Duel」。

この曲、もう何年も前に一度演奏したことがあるのですが、いろいろと大変だったことを思い出しました(笑)。
難しそうに聴こえるところが実際はそうではなくて、そんなに難しそうに聴こえないところが難しいんですよね。:)

このパガニーニのフレーズが好きです。
またさらってみようかなあ? :D

[4] 演奏のヒント!

『バランス Part 2』

今月は、先月に続いてバランスについて。
先月は音価に関するバランスでしたが、今月は音域についてです。

もう知っている人も多いと思いますが、音というものは、低い音よりも高い音のほうが聴こえやすいものです。
ということは、音階を1オクターブ同じ音量で吹こうとすると、気をつけることは何でしょう?

それは、低い音は少し大きめに、高い音は少し小さめに吹くことです。
音階を低い音から高い音へ吹く場合は、少しディミニユエンドを
するような感じで。反対に、高い方から低い方へ吹く場合は、
クレッシェンドをするような感じで吹いてみましょう。

どのくらいすればいいのか？

それは、よく聴いてみて、聴いてる人にとって「同じ音量」に
なるようにしてください。

今は簡単に携帯電話で録音もできますので、やってみるといいですよ。：)

編集後記

最近、いろいろなコンサートを聴きに行くことができている、充実した
時間を過ごすことができます。

改めて、生活の中に「コンサートを聴く」ということが入るといいなあ、
と感じています。：)

「芸術の秋」ということもあるのかなあ？（笑）

聴く側としていい経験をする、ますます自分たちのコンサートに
来てくれた人たちにも、そういう気持ちになってもらいたい！という
気持ちが強くなっていきます。

先月からなかなか休みがなくスケジュールはすごくキツイのですが、
しっかり前を向いて成長し続けていこうと思います！

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

info@pepeabe.com

©阿部竜之介 『Pepeの視点』

のバックナンバー、配信停止はこちら

<http://www.mag2.com/m/0001601194.html>